

南河内 LIVE ART EXPO

「天空の曼荼羅絵図 ―眠れる水の都・大阪狭山市―」

冒険の答え

鍵1 暗渠トンネルの数は？ 正解:7個

大阪狭山市を走る南海高野線の狭山駅から大阪狭山市駅間の築堤にレンガ造りの7つのアーチ橋があります。これらは鉄道開通によって狭山池からの水と人の往来が遮断されないよう、線路を敷設した築堤(土手)に水路・通路としてつくられました。地元では今も現役の通路や水路として活用され、「暗渠(あんきょ)」と呼ばれて親しまれており、歩いて見ることができます。

鍵2 大阪狭山市の駅はいくつ？ 正解:3駅

大阪狭山市内には、南海高野線の狭山駅・大阪狭山市駅・金剛駅の3つの駅があります。利便性が高いこと等から、大阪狭山市は民間事業者が公表している子育てしやすい自治体ランキングで大阪府内1位に輝いたことがあります。

鍵3 龍神様の数は？ 正解:2体

狭山池には龍神様が住んでいるという伝説があります。夫婦である雄が富田林市、雌は狭山池と夫婦別々で住んでおり、雌が毎夜夫のもとに通うのですが、その巨体で田畑の作物はなぎ倒され、人々は困り果てていました。村人たちは話し合いの末、夫を狭山池に迎えて一緒に住んでもらおうということになりました。そして、狭山池に祠を建て、龍神様をそこに導きました。その祠が、龍神社だという伝説です。

鍵4 石のさやりんに刻まれた年号は？ 正解:732年 行基の改修

飛鳥時代に日本最古のダム形式のため池といわれる「狭山池」が誕生し、732年(天平4年)には行基が大規模な改修を行ったと伝わっています。その後、約8万人を動員する大規模な天平宝字の改修により、現在の狭山池の原形になりました。